

就業規則の作り方（STDとEVOの比較）

STD（標準仕様）は、項以下の作成をするときに「文章」のみ設定できます。

EVOは、項以下の作成をするときに文章中に「埋込語句」や「参照条文番号」を埋め込むことができます。

【標準仕様】追加条文

第〇〇条（50音別）

あいうえお。

2 かきくけこ **結合** さしすせそ。 **改行**

たちつとと。

【凡例】

黒：文章

茶：文章の結合または改行の位置

緑：参照条文番号

青：埋込語句

赤：テンプレート（Code）

【EVO】追加条文

第〇〇条（50音別その2）

あいうえお。

2 かきくけこ **結合** さしすせそ。 **改行**

たちつとと。 **改行**

●テンプレート

3 なにぬねの。

(1) エービーシー。

(2) ディーイーエフ。

① **ABCDEF** **結合** にかかわらず **結合** XYZ **結合** とする。

② FGHIJ。

(3) **第△△条第□項** **結合** にかかわらず **結合** ジーエイチアイ

結合 とする。

ディクショナリ管理

「項」の結合・改行

文章形式: である調

規則・規程: 就業規則

章: 採用・異動等

条: 50音別

↓それぞれ全角で125字以内

1	かきくけこ	
2	さしすせそ	<input type="checkbox"/> 改行
3	たちつとと	<input checked="" type="checkbox"/> 改行
4		<input type="checkbox"/> 改行
5		<input type="checkbox"/> 改行
6		<input type="checkbox"/> 改行
7		<input type="checkbox"/> 改行

分割の数を変更する場合、使用データがあるときは常に「作成・改訂」でこのデータを外し、変更処理した後、また追加してください。

更新(Q) キャンセル(C)

「号」の結合・改行

文章形式: である調

規則・規程: 就業規則

章: 採用・異動等

条: 50音別その2

項: 2にぬねの。

↓文章は全角で125字以内

1	文章 / 語句 / 番号	設定	茶	Code: 8050	
2	文章 / 語句 / 番号	にかかわらず			<input type="checkbox"/> 改行
3	文章 / 語句 / 番号	設定	茶	Code: 8150	ジーエイチアイ
4	文章 / 語句 / 番号	とする。			<input type="checkbox"/> 改行
5	文章 / 語句 / 番号				<input type="checkbox"/> 改行
6	文章 / 語句 / 番号				<input type="checkbox"/> 改行

「処理する種別」及び「分割の数」を変更する場合、使用データがあるときは常に「作成・改訂」でこのデータを外し、変更処理した後、また追加してください。

更新(Q) キャンセル(C)

埋込語句の設定

Code: 8150 (数字で7000~9999(ただし0009は可) 全角で40字以内(標準とする内容を記載))

埋込語句: ジーエイチアイ

語句の説明: [カタカナを入れる] 全角で25字以内

更新(Q) 閉じる(C)

参照条文番号の設定

番号のCode: 8050

参照先の種別:

- 規則・規程・労使協定
- 章
- 条
- 項
- 号
- ①~⑩
- イ〜ネ

Code: 「規則・規程・労使協定」-「条」を指定してください

規則・規程: 03 就業規則

章: 04 総則

条: 0150 適用範囲

更新(Q) 閉じる(C)

作成・改訂

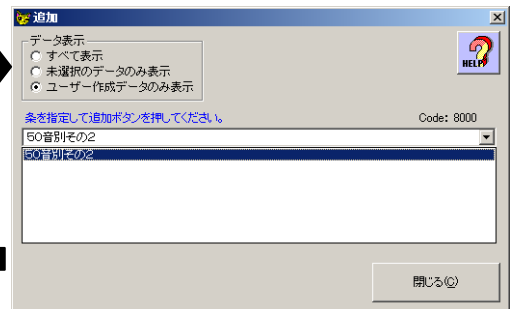
やり方は、STDもEVOも同じです。

EVOのユーザー作成条文（前ページ）を追加してみましょう。

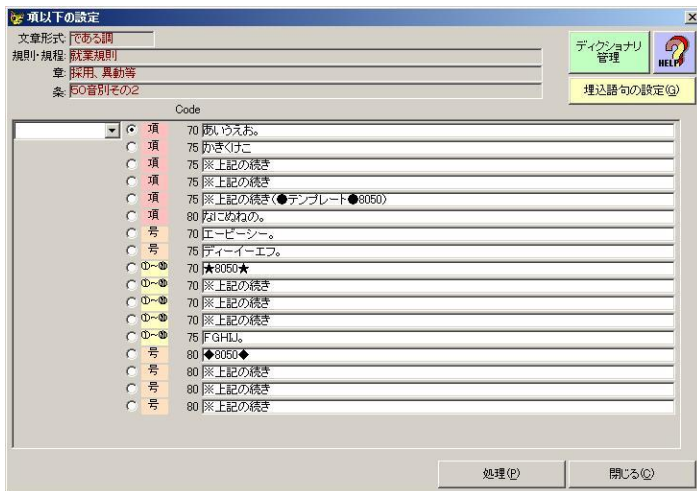


さて、ここで「50音別その2」という新たに作成した条を追加してみましょう。人事異動の下に追加します。

追加する条を指定します。



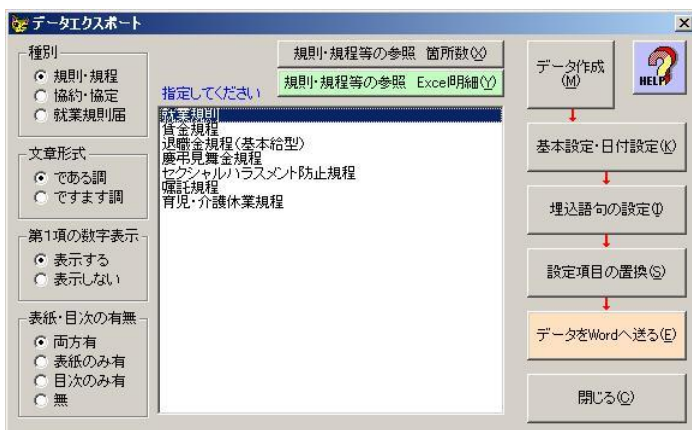
「50音別その2」が追加されました。



「50音別その2」が追加されました。
項以下の設定内容も確認してみましょう。

「※上記の続き」とあるのは、その行が同じ項や号に含まれること（結合又は改行）を示しています。

データをWordへ送る



やり方は、STDもEVOも同じです。

フォーム右側のボタンを上から順に処理します。

「データをWordへ送る」ボタンを押すとWordが立ち上がり、設定したデータがWord文書として作成されていきます。

※ずれた番号は自動的に振りなおします。

これだけで終了です！！

レイアウト等の調整は特に必要ありません。